沿革　　協立自動車工業

創業者について	創業者中込協男は、甲府工業夜間高校に通いながらオートバイ販売会社山梨トーハツ販売に就職、国家整備士資格を取得しながら、二輪整備士として下積み時代を過ごす。	 山梨トーハツ販売時代の創業者
	山梨トーハツの番頭として一般業務をこなす傍ら、日常業務が終わると山梨トーハツ販売店ライダーの専属メカニックとして、スクランブラー（現在で言うモトクロスレース車両）の競技車両の整備や２サイクルエンジンの改良やレース用２サイクル混合燃料の開発など行い、玉幡飛行場跡地での走行試験で試運転役を務め、各地レースに同行などする。	 スクランブラー競技車両整備
		 千曲川トライアルレース
	山梨トーハツがメーカーである東京発動機より依頼された、トーハツランペットによる富士山登頂性能試験にも整備士と補助役として参加、二輪整備士としての重要な職務を行う。 　計画は吉田口より登山道を登り登頂してお鉢めぐりをして宣伝用の写真を写すことであったが、八合目まで到達するも失敗に終わるが、自力下山するなどその性能をアピールしたとの事。	 トーハツ富士山登頂性能試験

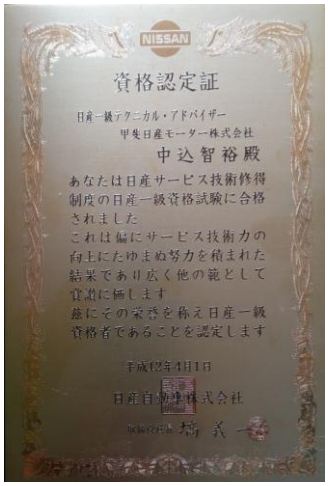
WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

創業者について	後に四輪のモータリゼーションの流れに乗って山梨トーハツ販売系列会社の山梨自動車産業で四輪自動車の経験も積み四輪自動車の整備士としても重要な職務に就くこととなる。 このころよりスズキ自動車株式会社と係りを持つようになる。	 山梨自動車産業時代
創業 昭和４８年３月 同６月	山梨県中巨摩郡敷島町中下条 1160（現在の甲斐市）に屋号 :「協立自動車整備工場」を創業、自動車販売・整備業務をしながら認証取得を目指す。 小型自動車分解整備事業の認証を受ける。認証番号 8-823　２級整備士１名　その他工員１名	 創業者、中込協男と妻妙子
昭和 53 年 12 月	認証制度の改正により国家整備士の必要最低人数が二名に増加したことに対応するため、創業者妻中込妙子が、子育ての傍ら国家三級整備士資格取得する。	 昭和５２年当時の甲斐市大下条の様子。中央道の建設と並行して金の尾遺跡の発掘が行われていた。中央道の建設が終わったころの、昭和５７年にこの地に移転する。

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

昭和 54 年１月	妻妙子が国家整備士になったことで中込妙子が国家整備士になったことで、 工員数２級整備士（整備主任者）１名、３級整備士１名　合計２名となる。	 国家３級整備士となった妻妙子
移転事業拡大 昭和５７年１１月	山梨県中巨摩郡敷島町大下条字泉尻 488-1 現在の地に工場拡張移転、 屋号：協立自動車工業に変更普通自動車分解整備事業取得、従業員採用により工員数２級整備士（整備主任者）１名、二級整備士１名、３級整備士１名合計３名体制となる。	 移転当時の新工場内

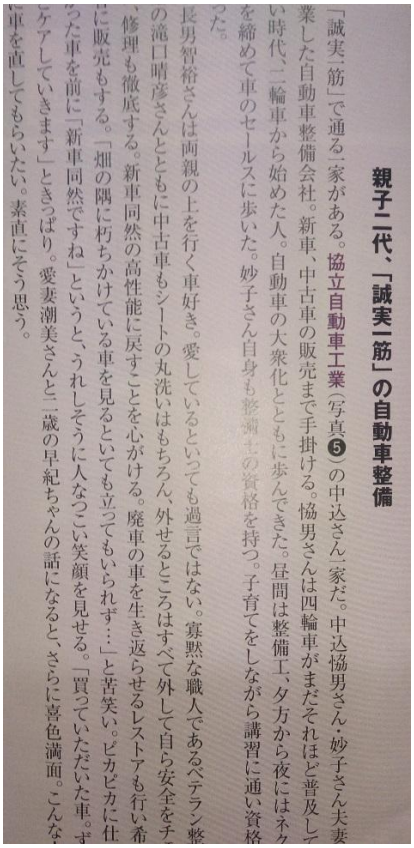
WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

後継者について	創業者の子中込智裕が自動車販売会社甲斐日産モーターで７年半の整備士とフロントマンの勤めを経て加入。国家二級整備士、自動車検査員資格、損保普通資格、日産一級テクニカルアドバイザー資格等取得。 また、甲斐日産モーターの代表として日産全国サービス技術大会に出場、規模別優勝などした。	 日産自動車全国サービス技術大会 規模別優勝 

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

後継者継承 平成１２年	後継者中込智裕加入により、工員数2級整備士（整備主任者）2名、二級整備士1名、3級整備士1名合計4名体制なる。 自動車診断のハイテク化に対応して外部診断機HITACHI HDM2000導入	 改装前の工場の面影 HITACHI　HDM2000
平成 14 年	このころより自動車販売のより一層の強化が図られる。 ウエブサイト：協立自動車工業ホームページ開設 http://park5.wakwak.com/~kyo-ritsu/ タジマー新多助コンピューター整備システム導入（顧客管理、見積、精算業務など電子化） WEBサイトのコンテンツの内容の確保と整備技術向上の一環として後継者がレストア（旧い車両の大掛かりな修復作業）の修行に積極的に取り組む	
店舗改装 平成 15 年 6 月	SUZUKI制定外装の新車展示場、商談スペースオープン。 スス゛キ展示会を開催するなどスズキ車をメインに新車中古車販売の強化を図る。	 スズキ新車展示場 屋外展示場に SUZUKI 外装

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

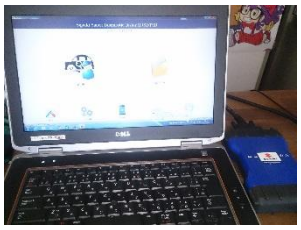
平成 16 年 11 月	スズキ車の販売実績が実り、スズキ株式会社より SUZUKI副代理店資格を取得、地域の有力販売店として認められる。	
平成 18 年	山梨県下総代理店の山梨スズキ販売より永年取引授与する。その他、スズキ関連の賞も多く受賞する。	
平成 19 年 1 月	山梨日日新聞社発行雑誌「ザやまなし」より取材を受け紙面に掲載される。	  親子二代、「誠実一筋」の自動車整備 「誠実一筋」で通る一家がある。協立自動車工業（写真❺）の中込さん一家だ。中込協男さん・妙子さん夫妻業した自動車整備会社。新車、中古車の販売まで手掛ける。協男さんは四輪車がまだそれほど普及して い時代、二輪車から始めた人。自動車の大衆化とともに歩んできた。昼間は整備工、夕方から夜にはネク を締めて車のセールスに歩いた。妙子さん自身も整備士の資格を持つ。子育てをしながら講習に通い資格 った。 長男智裕さんは両親の上を行く車好き。愛しているといっても過言ではない。寡黙な職人であるベテラン整 の滝口晴彦さんとともに中古車もシートの丸洗いはもちろん、外せるところはすべて外して自ら安全をチ 、修理も徹底する。新車同然の高性能に戻すことを心がける。廃車の車を生き返らせるレストアも行い希 に販売もする。「畑の隅に朽ちかけている車を見るといても立ってもいられず…」と苦笑い。ピカピカに仕 った車を前に「新車同然ですね」というと、うれしそうに人なつこい笑顔を見せる。「買っていただいた車。ず ケアしていきます」ときっぱり。愛妻潮美さんと二歳の早紀ちゃんの話になると、さらに喜色満面。こんな 車を直してもらいたい。素直にそう思う。

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

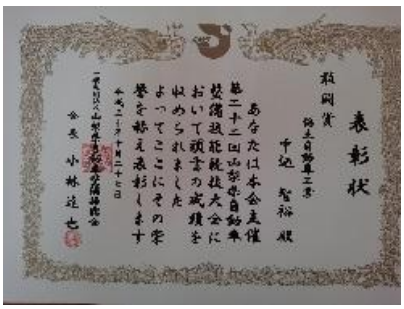
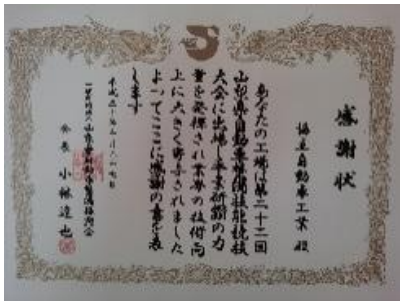
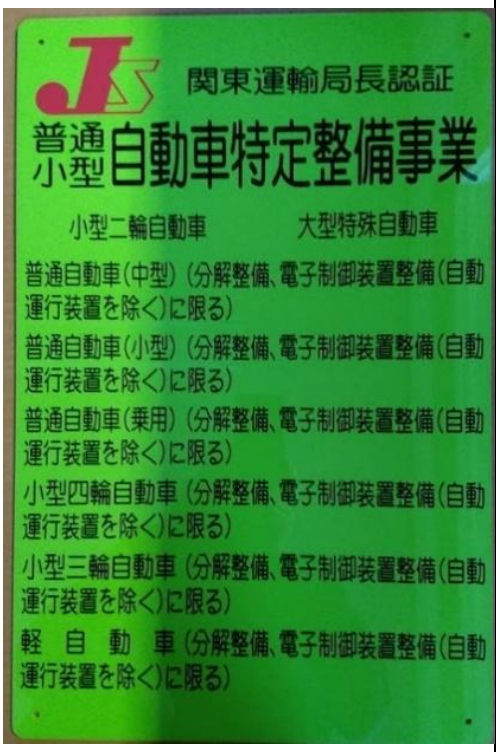
平成 20 年 3 月	スズキ取扱店のランドマークとして、Sマークのサインポール（大型屋外広告塔）が設置される。 スズキ大型モニター販売支援システム（SOMS）導入	
平成 20 年 5 月	新規従業員採用により工員数2級整備士（整備主任者）2名、二級整備士2名、3級整備士1名、合計5名となる。 SUZUKI展示商談会など、イベントを定期開催	
平成 21 年 8 月	創業者中込協男永眠（享年72歳）創業者の子中込智裕が2代目店主となる。 工員数2級整備士（整備主任者）1名、二級整備士2名、3級整備士1名の合計4名ととなる。	
平成 22 年	ジムニー40周年を記念して、ジムニーオリジナル未改造車限定のミニイベントを開催。 個性あるスズキ車のユーザー様を集めたレジャーイベント開催。	

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

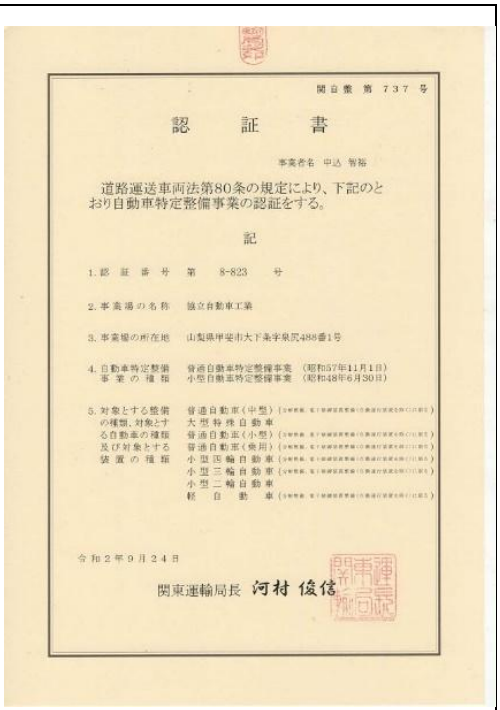
2025 年 10 月編集

平成 22 年	次世代自動車やハイブリッド車各社国産車に対応すべく診断機TMP1000コードリーダープラス導入 スズキ販売店支援システム（SIOS）を挿入して、新車見積、サービスマニュアル技術情報、部品発注システムをオンライン化	
平成 24 年 5 月	韮崎警察署と韮崎交通安全協会より感謝状が授与される。	
平成２５年	スズキ車専用の最新診断システムSDT−Ⅱ診断システム導入。 山梨県警と山梨交通安全協会より交通安全功労賞を受賞する。	
平成 26 年 6 月	定年退職者に伴い工員数二級整備士（整備主任者）1名、二級整備士1名、三級整備士1名の合計3名となる。	
平成 28 年 12 月	スズキ株式会社より、鈴木修会長が来県され、スズキ販売店の集いに招かれる。	

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

平成 30 年 10 月	第22回山梨県自動車整備技能大会に店主中込智裕が出場し、敢闘賞を受賞するとともに、選手を選出した当店に感謝状が贈られる。	  表彰状 敢闘賞 株式会社自動車工業 中込 智裕 殿 あなたは本会主催第二十二回山梨県自動車整備技能技術大会において顕著な成績を収められましたよってここにその栄誉を称え表彰します 令和二十年十月二十七日 山梨県自動車整備技能技術大会 会長 小林 達也  感謝状 株式会社自動車工業 殿 あなたの工場は第二十二回山梨県自動車整備技能技術大会に出場し本業研鑽の力量を発揮され本県の技術向上に大きく寄与されましたよってここに感謝の意を表します 令和二十年十月二十七日 山梨県自動車整備技能技術大会 会長 小林 達也
令和２年９月	道路運送車両法改正で特定整備制度導入に伴い、電子制御装置（自動運行装置を除く）に限る、特定整備（電子）の追加認証がされた。	 関東運輸局長認証 普通 小型 自動車特定整備事業 小型二輪自動車　大型特殊自動車 普通自動車(中型)（分解整備、電子制御装置整備(自動運行装置を除く)に限る） 普通自動車(小型)（分解整備、電子制御装置整備(自動運行装置を除く)に限る） 普通自動車(乗用)（分解整備、電子制御装置整備(自動運行装置を除く)に限る） 小型四輪自動車（分解整備、電子制御装置整備(自動運行装置を除く)に限る） 小型三輪自動車（分解整備、電子制御装置整備(自動運行装置を除く)に限る） 軽　自　動　車（分解整備、電子制御装置整備(自動運行装置を除く)に限る）

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

令和２年９月	**特定整備（電子）の追加認証書**	 関自整 第 737 号 認　証　書 事業者名 中込 智裕 道路運送車両法第80条の規定により、下記のとおり自動車特定整備事業の認証をする。 記 1. 認証番号 第 8-823 号 2. 事業場の名称 協立自動車工業 3. 事業場の所在地 山梨県甲斐市大下条字泉尻488番1号 4. 自動車特定整備事業の種類 普通自動車特定整備事業（昭和57年11月1日） 小型自動車特定整備事業（昭和48年6月30日） 5. 対象とする整備の種類、対象とする自動車の種類及び対象とする装置の種類 普通自動車（中型） 大型特殊自動車 普通自動車（小型） 普通自動車（乗用） 小型四輪自動車 小型三輪自動車 小型二輪自動車 軽自動車 令和２年９月２４日 関東運輸局長 河村 俊信
令和３年１月	**スズキ株式会社より、創立100周年の永年取引の感謝状が授与された。**	
令和４年１月	**山梨自動車整備振興会より、永年認証事業場として表彰される。**	 表彰状 協立自動車工業 殿 あなたは永年自動車特定整備事業に精励され業界の発展に尽力された功績は多大であります よって創立七十周年記念式典に当り表彰します 令和四年一月二十二日 山梨県自動車整備振興会 会長 小林達也

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

令和 4 年 10 月	適格請求書発行事業者登録 登録番号　T4810570190639 国税庁インボイス制度適格請求書発行事業者公表サイト	最新情報 登録番号 T4810570190639 氏名又は名称 中込　智裕 登録年月日 令和5年10月1日 主たる事務所の所在地等 山梨県甲斐市大下条４８８－１ 主たる屋号 協立自動車工業 最終更新年月日 令和4年10月3日
令和 5 年 9 月	10月より始まるOBD検査（車検）プレ運用に合わせて検査用スキャンツールTPM-5を導入する	
令和 5 年 10 月	OBD検査（車検）プレ運用に合わせて、特定DTC診断アプリ操作用PCと検査用スキャンツール、モバイルプリンターを一括でモバイル運用できる「OBDステーション」を独自構築、車検点検入庫車全数、ダイアグ診断レポートが発行可能になる。	

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。

令和７年８月	メーカーのスズキ株式会社と地元代理店の山梨スズキ販売株式会社からの全面支援により、店舗壁面看板の改装とお客様専用駐車場の設置をしていただき、店舗のリニューアルを行った。	

WEB ブラウザでは写真をクリックすると新しいウインドで開きます。